

我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立唐崎中学校

○調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【結果について】

《概要》

平均正答率は、国語、数学、英語とも、全国平均を3～6ポイント程度下回る数値でした。生活習慣・学習習慣については、全国平均を上回る項目がある一方、規範意識・自己有用感については、全国平均を下回る項目がありました。教師や友達との関係に満足している生徒が多く、全体的に充実した学校生活を送っており、地域への関心も高いです。一方、学習面については、家庭学習等での自主学習や授業で学んだことを十分活かさきれていないといった課題が見られました。

《強み・弱み》

〈国語〉強みは、日頃の授業で振り返りをしっかりとやっている効果が表れ、自分が感じたことや考えたことを自分の言葉で素直に書くことができていることです。また、朝読書が定着しているため、言葉に触れる機会が多く、言葉の意味を正しく理解している生徒が多いです。弱みは、漢字を読むことはできるが、書くことが苦手な生徒が多く、複数の情報を整理して、活用することが苦手なところです。意図や効果など、「なぜ」そうするのかを考えることができていなかったりする点に課題が見られます。

〈数学〉強みは、特に「図形」の領域の結果がよかったことと、「数と式」の領域が、県・全国平均に近い数値であったことです。弱みは、特に「データの活用」の領域の結果が悪く、「思考・判断・表現」、記述式の問題の正答率が低く、無回答率が高いことです。問題解決の過程や結果を振り返って考えたり、数学的な表現を用いて説明したりすることに課題が見られます。

〈英語〉強みは、普段から英文を読んで内容を理解する活動を多く取り入れているため、他の能力と比較すると比較的身につけているところです。弱みは、自分の考えを英作文で表現することなどに課題があることと、リスニングの面では、簡単な内容であれば聴き取れるが、長い英文になると正確に聴き取ることができないことです。

〈生徒質問紙〉

- ・全国平均と比較して特に良い傾向が見られる主な項目：「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」「友達関係に満足していますか」
- ・全国平均と比較して課題が見られる主な項目：「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「人が困っているときは、進んで助けていますか」「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）」
- ・過去の結果から改善が見られる項目：「1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」

【指導の充実に向けて】

- ◇探究的態度を育むような課題設定を工夫し、「主体的・対話的で深い学び」を実践するための授業改善に取り組みます。
- ◇学んだことや意欲、問題意識等が家庭学習や次の授業につなげられるよう、授業の時間内に、「まとめ」や「振り返り」の時間を確保し、それらの質的な改善に取り組みます。
- ◇どの教科においても、「話すことや聞くこと」、「書くこと」など表現させる取り組みを通して、言語活動の一層の充実にむけた取り組みを進めていきます。
- ◇学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けるために、キャリア教育を推進します。